

会報

第49号

CONTENTS

- 1 会長挨拶
- 学長挨拶
- 2 理事長挨拶
- 3 2012年度 活動報告
- 5 2013年度 活動情報
- 6 美しく生きる
- 7 学生支援事業
- 9 支部だより
- 11 総会報告
- 13 同窓会より
- 14 大学のページ
- 15 ホームカミングデー



ノートルダム清心女子大学同窓会 会長 **横溝洋子**



昨年五月二十六日の代議員総会から発足した新年度も、一年を迎えました。その間、ホームカミング、ボランティア、奨学金事業、文化講座、学支援助講座、会報とそれぞれの担当分野での委員会で、代議員の皆様と共に、熱心に事業に取り組んでいただきました。私はその一瞬一瞬に同窓会が生き、維持されていると嬉しく感じました。不慣れな会長を、皆様のお力で支えていただき心より感謝

いたしております。

さて、本年は同窓会創立六十周年の記念すべき喜ばしい年でございます。時を同じくしてこの六月に、同窓会館の目の前に、大学の講義棟が二棟できあがりです。そのうちの棟は、社会人向けの建物になり、そこに生涯学習センターが開設されるそうです。私たち同窓会も、それに協力させていただきたいと考えております。

同窓生の皆様は、現在は様々な方面で活躍していらっしゃると思いますが、その根幹の部分は大学時代に培ったのではないのでしょうか。この大学でお教えいただいたことや、考えたことが、私たちの人格形成の基礎となっていると思います。ここ数年、平均寿命の伸長に

よって、女性のライフサイクルも変化してまいりました。子育ての後、四十年もの自由時間があるとも言われています。これからは、卒業後二十年、三十年以上上たつてからも、大学で講義を受けてみたい、また勉強してみたい、と考える方も増えていらっしゃると思います。そういう時期に、同窓会が皆様のお役に立てたらと考えています。

今後の同窓会は、親睦だけではなく、職業を持っていらっしゃる方にも、家庭にいらっしゃる方にも、生涯教育の場として活用していただきたいと思っております。まだ具体的なお知らせを申し上げることはできませんが、創立六十周年を迎える同窓会にご期待くださいませ。

先日、渡辺和子理事長様のご著書「置かれた場所で咲きなさい」が百万部を突破いたしました。私たちが理事長様にお教えいただいたことが、この二本を通して大学以外の大勢の方に共有されることは、同窓生にとっても大変誇らしく、ありがたいことでございます。心からお祝い申し上げます。私たちが一人ひとりが支え合うことのできる、より人間らしい社会を目指して共に歩みましょう。次の時代の中での同窓会も、堅実な歩みを続けたいと願っております。

末筆ではございますが、同窓会員の皆様方の日頃のご支援を心より感謝し、益々のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

生涯学習センターの開設

NDSU Continuing Education Center

ノートルダム清心女子大学 学長 **高木孝子**



同窓生の皆様、その後お変わりございませんでしょうか。本学はリベラル・アーツ・カレッジとして、建学の精神にもとづき、自ら考えて判断し、人々とともに行動して責任をとる女性の育成に力を注いで参りました。また、奉仕の精神をもって、社会に貢

献する大学としての活動もつづけてきました。これらはカトリック大学としての本学の大切な教育理念であり、新しい年度のはじめにあたって、このことをあらためて確認したいと思えます。本学はこのような教育理念のもと、二〇一八年からの十八歳人口の減少、あるいは岡山県の人口の年齢構成の変容といった社会情勢の変化に対応していきたいと考えています。

このたび、本学は昨年から、キャンパス内の旧ヨゼフ・ホール(学寮跡地に、新たに二つの校舎の建築工事をすすめております。建物はこの六月には竣工します。そこには、講義棟として講義

室を設ける他に、カフェを備えたラウンジ並びにブックストアの運用を開始します。また、生涯学習センター(NDSU Continuing Education Center)を開設し、社会人教育の拠点を設けることにしています。

この計画には2つの意図があります。ひとつは、学生のキャンパスライフを、福利厚生の中から充実させるといふことです。残念ながら本学の現状は、学生の食事環境、自習環境など、学生生活に関して十分に快適な環境を提供できているとは言いがたいところがあります。教室についても、ゼミ室をはじめ、特定規模の教室で不足しているものが

あります。新しい建物では、こうした部分を補い、充実をはかって、学生たちの本学に対する満足度を、環境の面から高めていきたいと考えております。

もうひとつは、創立者マザー・ジュリーの精神に則った、地域に開かれた生涯学習の場の提供ということですが、岡山県の人口は現在一九二万人ですが、十年後には一七〇万人に減少していくと聞いております。県北部と中部の人口が減少し、岡山市と倉敷市に人口が集中するようですが、その岡山、倉敷でも若い人は減って、四十〜六十代の人が増えます。そして、この年代の人々からは、新しい資格がほしいとか、新

たな分野の知識を身につけたいという要望が増えてくると考えられます。このようなニーズに応えるために、新しい建物に生涯学習センターを開設して、地域に開かれ、卒業生をはじめ社会人等も学べる機能をも持たせたいと考えています。

こうした状況は、すでにドイツで知られていると聞いております。ドイツでは中高年人口が地方都市に集中するという現象が起こっており、ここでは、大学が図書館を活用し、夜間に科目を開講していらっしゃる。夜間も、一流の教授陣が担当すること

です。本学が今年七月に開設する生涯学習センターでも、社会のニーズに応える講座を開講いたします。なお、このセンターの愛称として伊語で「幸福な」を意味する清心フェリーチエを考えております。

十年後には本学をとりまく状況はかならず変化して参ります。十年経って気がついた時は遅かった、と後の祭りでは困りますので、本学の土地利用についても、十年後も本学が万全であるというような形にすべきたと思っております。

皆様からのご協力をいただきたいと願っております。

財産となる歳を重ねる

ノートルダム清心学園 理事長 **渡辺和子**



二〇一一年三月十一日の東日本大震災は、私たちに、あたりまえとされていることが、必ずしもあたりまえではないのだ、ということをお教える出来事でもありました。あつという間に、家屋敷が崩れ、流され、多くの人命が奪われた事実は、私たちに、生きていくということがあたりまえでなく、死というのも他人ごとでないと思わせたのではないのでしょうか。

「生きていくということは、自分が使える時間がまだある、ということだ」と言った人があります。若いから、まだ時間が沢山あると思っいても、いつ病気になるか、事故に遭わないとも限りません。

年齢のいかに関わらず、一人ひとりが忘れていけないのは、時間の使い

方は、いのちの使い方であり、したがって、毎日をしていねいに過ごすことなのです。「ひとのいのちも、ものも、両手でいだきなさい」と言われたことを時に思い出します。

ぞんざいに生きていないか、不平不満が多くなっていないかを、時にチェックしてみないと、私たちの使える時間には限りがあるのです。人は皆、いつか死にます。公演を行う時など、リハーサルをしておくこと本番で慌てないですむように、大きな死を、取り乱すことなく迎えるためにも、リハーサルをしておくことは良いことです。

このリハーサルを、私は「小さな死」と名付けています。そしてそれは、日々の生活の中で、自分のわがままと闘い、自分の欲望、感情などを制御することなのです。

聖書の中に「一粒の麦」のたとえがあることを思い出してください。一粒の麦が地に落ちて死ねば、多くの実りをもたらすけれども、死ぬことを拒否して一粒のままですと、やがて枯れて

しまうという話です。つまり、実りを産む死となるためには、それに先き立つ「小さな死」が求められるのです。

お化粧品に余念のない学生たちに言うことがあります。きれいになるのも結構。きれいになるためには化粧品にしてもエステにしても、お金が必要。この大学の学生たちは、きれいさともい、美しさを持つ人たちであってほしい。

美しくなるためには、お金は不要。それは心の輝きであり、痛みを伴う自己管理、自己抑制が必要なのです。

かくて私は、学生たちに「面倒だからしよう」という言葉を伝え、毎日の生活の中での実行を促しています。例えば、脱いだはきものを揃えること、使った椅子を元へ戻しておくことなどです。こういう小さな面倒なことができていく時、人は美しくなれるのです。

アンチエイジングに心を砕くより、美しく歳を取ることの方が大切でないでしょうか。「私から歳を取り上げないでください。歳は私の財産ですから」と言いたいものです。財産となる歳こそは、

地に落ちて死ぬ一粒の麦の実りであり、日々をていねいに過ごすために必要な「小さい死」の積み重ねなのです。

マザーテレサは、美しい方でした。それは、絶え間ない自分自身との戦い。「小さい死」に徹した、人々への無償の愛の結実に他ならない輝きであり、美しさだったと思えます。

ノートルダム清心女子大学の卒業生が、美しく財産となる歳をお取りになるよう祈っております。

お礼とお詫び

今年も多くの卒業生から年賀状をいただきました。一枚一枚目を通し、嬉しく読ませていただいたのですが、今の私には、宛名を書いてお返事する時間と体力がありません。本当に申し訳ないのですが、この紙上をお借りして、お礼とお詫びを申し上げます。他の時期にいただくのにはお返事できると思いますが、年賀状への返事はお許しくださいませ。

二〇一三年一月三十日

ホームカミング

平成二十四年十月十四日(日)ノートルダム清心女子大学カリタスホールにおいて、平成二十四年度ホームカミングデーを開催しました。午前中の生涯教育講座に引き続きの開会で、講師の江草安彦先生もご参加くださいました。来賓として理事長様、学長様をはじめ諸先生方、同窓生あわせて百三十二名が集いました。

今年度は卒業後五十年を迎えられた十期生の皆様には、理事長様のサイン入り御著書をプレゼントいたしました。この日にあわせて、十期生の皆様は、同期会をなさり、懐かしい時間を過ごされたようでした。

また、集いでは、ソプラノ歌手の三宅祐子さん(四十三期・児童)のすばらしい歌声と渡辺香奈さん(大学三年生・児童)のピアノ伴奏に聴き入りました。来賓の先生方にはお一人ずつお言葉をいただき、懐かしい話に花が咲きました。皆様はまだまだ話し足りない様子でしたが、時間があっという間に過ぎてしまい、最後は全員でイマキュラタ、大学歌の合唱をし一年後の再会を約束して閉会しました。平成二十五年度は、平成二十五年十月二十日を開催予定にしています。同窓会は六十周年を迎える節目に当たります。卒業時に学長様から「行ってらっしゃい」と送り出していただいた母校に、是非次回のお帰りをお待ちしております。この機会にミニ同窓会を兼ねてご参加されても楽しいかと思えます。



美しい歌声に包まれて

生涯教育

平成二十四年十月十四日(日)、ホームカミングデーの午前の部として、生涯教育講座を開催しました。講師には、社会福祉法人旭川荘名管理理事長・江草安彦先生をお迎えし、「家族の役割」と題してご講演をいただきました。

とかく私たちが「家族」と言えば、血縁に基づく繋がりをイメージします。しかし先生は、国内外に至るご自身の体験をお話しくださり、血縁に留まらない人間関係もグローバルな視点での「家族」であるという新鮮な価値観を私たちに与えてくださいました。確かに、いつも会う隣人同郷の人、同窓生は、なぜかホッとできる家族のような存在です。日々関わる周りの人々を、「家族」のように大切にしていかなければならないという恩師としてのご助言が、心にしみじみ伝わって参りました。

懐かしい学舎で先生のお話に触れていると、学生時代にタイムスリップしたようで、忘れていた青春時代が戻ってきたようでした。「新聞で知り、是非お聞きしたくて」という一般の参加者もあり、同窓生のみならず多くの人で「家族とは」を考えさせられたひとときとなりました。



熱く語られる江草安彦先生

絆も深く寮生の集い

●十六期

二年に一度開催しております十六期同窓会を、平成二十四年十一月十二日、十三日京都にて行いました。過去二十年程は、北は横浜から南は山口へと各地で開催しており、学生生活を過ごした岡山の地にタイムスリップしたかのような心地よさの中で和やかなひとときを楽しんでおります。今回は十二日、京都市内での夕食会に始まり、翌日「世界遺産宇治散策」や「黄檗山万福寺」を経て「高台寺」へとハードスケジュールでしたが、笑顔のうちに心豊かな時を共有致しました。今回は原点である「岡山で再会しましょう」と岡山へバトンタッチ、ご都合で参加できなかった方とも是非、再会できますようにと祈りつつ、古都・京都での同窓会を終えました。(国文 山根 芳子)



宇治平等院の庭にて和やかなひととき

●十八期

平成二十四年十一月四日(日)同窓会館(ルルド館和室)で十八期同窓会を開催しました。四十三年ぶりの大学も見ていただけるようにと、今回初めて大学祭開催期間中に企画しました。会津若松、東京、北九州市など遠方から会員九十一名中二十五名(内一名卒業以来、初参加)が集まりました。渡辺和子理事長様とシスター辻弘子先生をお迎えし充実した会となりました。理事長様には、時代の変遷とともに変わった点や学寮跡に建設中のヨゼフホールの概略などについてもお話いただき、母校の発展ぶりをうかがい知ることができました。また、辻先生とは、学寮での思い出話を花をさかせ、当時を懐かしむ事ができました。参加者から「学内を歩きながら、清心の風を感じ、快い気分になった。」との感想をいただきました。次回は二年後の予定です。(児童 栗井 京子)



ルルド館 和室にて楽しい時間

ボランティア

ゆめ文庫

「ゆめ文庫」に参加させて頂き、二年が過ぎました。子供達の手が離れてきて、何かのボランティアに参加したいと思っていた時に、会報でこのボランティア活動を知りました。絵本は子育て中によく読み聞かせをしていましたので、本当に軽い気持ちで参加しました。そんな私を先輩方が気持ち良く迎えて下さり、全く何も知らない私に、丁寧に何度も説明して下さいました。少しですが点字を覚える事ができました。また、この活動に真摯に向き合われている先輩方の姿勢に、ボランティアのあり方を学び、私も微力ながら役に立てればと思うようになりました。

今回、理事長様の著作「置かれた場所のできなさい」を点字訳する作業にも参加しました。著された文章に接し点訳を進めていく中で、改めてこの大学を卒業し、「ゆ



楽しい点訳活動

め文庫」に参加できた事を嬉しく思い、この想いを心に、これからも少しずつですが、点訳の活動を続けていきたいと思えます。(三十九期・食品 鈴木 緑)

エンジェル会

エンジェル会は、旭川荘内の三カ所で開催しているボランティア活動です。

療育園では、一緒にお菓子(主にクッキー)作りをしたり、遊んだりしています。睦学園では、車椅子での散歩や、室内活動の手伝い等、そして児童院では、主に紙芝居や絵本を読んだり、歌を歌ったりしています。また、「子どもまつり」や「夏まつり」等の行事にも参加し、車椅子の園生と会場を回って一緒に買い物したり、ステージでの催しを観て楽しんでいたりしています。

十二月には、前回に続き「星野仙一杯争奪・第二回西日本肢体不自由児ティールボール交歓大会」に手伝いを兼ねて応援に行きました。ティールボールとは、車椅子でできる野球に似たゲームです。今回は四チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。一生懸命プレーする園生の姿が熱くなり、応援の声も一段と大きく、私達も心に残る一日となりました。同窓生の皆様、一緒に活動しませんか。お待ちしております。



活動報告と語らいの場・定例会

フリージアの会

ルルド館の第一会議室のドアを開けると、かわいい手作り品が目飛び込んできます。月に二回、代議員を中心に同窓生が集まって、奨学生支援バザーのための作品作りをしています。

作品が一つずつ完成していく楽しみだけでなく、手を動かしながらのおしゃべりにも花が咲きます。おいしい漬物の作り方や嫁姑の話まで、そこには、同じ大学で学んだ、年代を越えての交流があります。今年もそんなつながりを大切に、活動の輪をさらに広げていきたいと思っています。

手芸が好きな同窓生のみならず、懐かしい母校の門をくぐって、一緒に活動しませんか?そして、ホームカミングデーと大学祭には、ぜひ私たちの作品に会いに来てください。



なごやかに手作り品を製作中

ゆめ文庫 新刊目録

- だいちゃんのちびねこ (やまもと まつこ)
- ぐるんぱのようちえん (西内 ミナミ)
- かえるがみえる (まつおか きょうこ)
- ノンタンおしっこしーしー (キヨノ サチコ)
- おさるのジョージどうぶつえんへいく (M.&H.A. レイ)
- さむがりのゆきだるま (みたむら のぶゆき)
- おべんとうバス (真珠 まりこ)
- ねこふんじゃった (せな けいこ)
- はいくの えほん (西本 鶏介)
- おたまじゃくしの101ちゃん (かこ さとし)
- フランダースの犬 (ウィーダ)
- あしたの てんきは はれ?くもり?あめ? (野坂 勇作)
- サザンちゃんのおともだち (かこ さとし)
- がたん ごとん がたん ごとん (安西 水丸)
- ねないこ だれだ (せな けいこ)
- よわむしケンとなきむしトン (かこ さとし)
- ちいさな くも (エリック・カール)
- こぶとりじいさん (いもと ようこ)
- あかいかさ (ロバート・ブライト)
- 14ひきのかぼちゃ (いわむら かずお)
- 牛若丸 (千葉 幹夫)
- よもぎだんご (さとう わきこ)
- ティモシーとサラのピクニック (芭蕉 みどり)
- こんとあき (林 明子)

美しく生きる

感謝と恩返しへの気持ち
大山典子 二十二期 食品(鹿児島在住)

大学を卒業後、約四十年間管理栄養士として働いてきました。調理師学校勤務を皮切りに料理教室を開く傍ら病院栄養士として働き、六十歳から、鹿児島純心女子短期大学に勤務することになりました。これまでの経験を生かして栄養士を育てていくことがこれまでお世話になりながら働かせて頂いた感謝の気持ちと恩返しと思いを教育にあたっています。

私の担当している教科は調理学実習、臨床栄養学、栄養指導など栄養士に成る為に主となる教科を担当しています。まずは「おふくろの味」が袋の味と言われている学生に包丁の扱い等指導することから始まり「美味しい料理を作る事が出来る」を目標に指導しています。

ユトリーマンと言われるゆとり教育を受けた学生が対象で、考え方の根本が違うためこちらが戸惑うことが多々あります。家庭でなされるべき事が出来ていないため一から教えて行かなければ成らない苦勞もあります。私達も学生時代、今時の学生は：と言われていると思いますが、いつも今時の若者は？と思いつつながら教育の難しさを感じています。大学四年間で「人として生きる大切なこと」など言葉では表現できない心を学びました。この言葉の意味を考えながら、曲がり角では選択し一歩ずつ歩いていきつつ、現在に至る



大学を卒業後、約四十年間管理栄養士として働いてきました。調理師学校勤務を皮切りに料理教室を開く傍ら病院栄養士として働き、六十歳から、鹿児島純心女子短期大学に勤務することになりました。

魔法の呪文を思い出す場所
小舞真理 二十四期 国文(岡山在住)

現代詩と童詩などを書いていきます。宮澤賢治の研究会に入っている時に、突然、詩誌に誘われたので、詩作を始めました。いろいろな詩誌を経由して、今は、現代詩誌「黄薔薇」・童謡詩誌「とくくん」・童話工房「あひのびあひのび」に所属しています。言葉を使って新しい世界を創っていく作業は、とても静かで地味なものです。言葉の向こうの無限大の広がりを感じるたびに、いつもわくわくしています。

作品を書いている途中で、心がふと訪れる場所があります。それが、母校の中文学と近代詩の講義室なのです。教室内の空気はビーンと張りつめていて心地良く、赤羽先生の授業が進むにつれて、イメージがどんどんふくらんで、空中を飛びかうのです。密度が高く、まるで魔法のような時間でした。今でも、あの講義室に行くとき、魔法の呪文を思い出すことができます。あんな場所はない。私の文学の原風景のように思っています。

詩は活字だけで表現することが多いですが、絵画や造形作品や音楽とコラボレーションすることもあります。昨年は、ソプラノ歌手の長谷川泰子さん・劇団四季で「オペラ座の怪人」を演じた方が、リサイタルの中で、私の詩「音魂」空のおんがく「あかり」を歌ってくださいました。言葉にメロディーとリズムと美しい声加わって、とてつもなく新鮮な作品に変わっていたので、感激しました。これからも「わくわく・どきどき」しながら詩作を続けたいと思っています。



現代詩と童詩などを書いていきます。宮澤賢治の研究会に入っている時に、突然、詩誌に誘われたので、詩作を始めました。いろいろな詩誌を経由して、今は、現代詩誌「黄薔薇」・童謡詩誌「とくくん」・童話工房「あひのびあひのび」に所属しています。

永瀬清子に出会って
白根直子 五十期 国語(岡山在住)

永瀬清子の詩に出会ったことが転機となり、その詩に書かれた本当の心が読めるようになりたいという願いが強くなりノートルダム清心女子大学に社会人入学しました。卒業後、縁あって赤磐市で学芸員として永瀬清子の里づくり事業に携わっています。県内の小中学生を対象に詩作を募集する永瀬清子賞や現代詩講座の運営、毎年二月中旬に開催する朗読会「永瀬清子の詩の世界」の企画・運営・寄贈された資料を整理し、永瀬清子展示室への展示などに取り組んでおります。同窓生や地域の方など多くの方に力添えをいただきながら励み続ける日々です。

その永瀬清子は母校とも縁が深く、随筆には様々なエピソードがでてきます。また、詩「雨ニモマケズ」と終生深い関わりをもち、宮澤賢治の「一番下っぱの弟子」を自認していたほどで、公開国文学講座で宮澤賢治の講義をしたこともあります。

私はその後、博士前期・後期課程に進み、宮澤賢治研究者の山根知子先生にご指導いただいていることに、不思議な縁を感じないではられません。

永瀬清子の詩の世界は今を生きる私達にも意義深い価値ある言葉を示唆しています。こうした永瀬清子の詩が多くの方に届くことを願い、これからも研究に努めてまいりたいと思っています。



永瀬清子の詩に出会ったことが転機となり、その詩に書かれた本当の心が読めるようになりたいという願いが強くなりノートルダム清心女子大学に社会人入学しました。

優しい温もりのなかで
 (広報部の取材による)

今年、設立十五年目を迎える「ゆめ文庫」を取材しました。大学創立五十周年の平成十一年、同窓会は、長く続けられるボランティア活動を模索していました。そんなある日、奉仕部の部長・田淵英子さん(二期・家政)は新聞の記事に目を留められました。そこには「全盲の私が母親になった時、見えるわが子に普通の絵本を読んでもやりたいと思いませんでした。それが点訳絵本作りのきっかけとなったのです」と、岩田美津子著「点訳絵本の作り方」が紹介されました。田淵さんは早速、新聞社に問い合わせ、岩田氏に基本的なことを教わり会報で部員を募集。点字の勉強をされていた同窓生が仲間になられてスタートしました。

点訳絵本とは、市販の絵本の文章を塩化ビニール製の透明のシート(タックペーパー)に、点字盤で一文字一文字打って、活字部分に貼り付けます。同じシートで、絵を型どり段差をつけて貼り付けます。ゆめ文庫では指先で触り情景がわかるように、アイデアを出し合い、工夫されています。また、皇后様の「パーゼル大会でのご挨拶」や会報などは、パソコンで点訳されます。これらの絵本を、送料は無料で貸し出し、利用者も少しずつ増えていきます。また、借りられる方に点字による手紙で、意見や要望を伺い、絵本作成に生かされています。

完成本は二三五冊。親子で点訳絵本を楽しめることを願いながら、毎月第二・第四木曜日、ルルド館二階の会議室で活動されています。



平成25年度 文化講座						
講座名	講師	内容	定員	曜日・期間等	受講料(全納)	教材費
文学	ノートルダム清心女子大学名誉教授 赤羽 淑	『源氏物語』を読む。 『百人一首』を読む。	20人	5月～7月、9月～3月 月曜日(月2回)14:00～15:30	26,000円 (1カ月/2,600円)	テキスト代
ペン習字	文部科学省後援硬筆毛筆書写検定 岡山県審査委員 岡山書写教育研究会師範 田中 慎子 (更愁)	文部科学省後援硬筆書写検定3級、2級、1級の合格を目指して公的資格を取得する。及び実用書の練習を通して文字の上達を目指して書の文化にも触れる。はがき・手紙等にも挑戦して生活を楽しむ。	各クラス 10人	5月～7月、10月～1月 ①毎週水曜日13:30～14:40 ②毎週水曜日15:00～16:10	18,200円 (1カ月/2,600円)	テキスト代他・初回 (3,500円～3,800円)
きもの着付け	むつみ京都総合学院学院長 吉井 睦美	ゆかたから留袖まで自分で着られるようになる。和の文化についても学べるし、マナーも身につけることが出来る。人に着せ付けることも可能。講師の資格も取得できる。	各クラス 20人	5月～7月、10月～2月 ①毎週金曜日10:00～12:00 ②毎週金曜日13:30～15:30	24,800円 (1カ月/3,100円)	テキスト代・初回 (3,940円税込)
謡曲・仕舞 (観世流)	日本能楽会会員 京都観世会副会長 職分 林喜右衛門師	能楽の台本である謡を通し、日本の文化・歴史を知り、仕舞を通して舞を学ぶ。	10人	月2回(原則火曜日) 9:30～16:00 稽古所要時間は1科目 20～30分	謡曲のみ(1カ月) 一般5,000円 学生3,000円 謡曲と仕舞(1カ月) 一般8,000円 学生5,000円	謡本 [初心本・5曲入り] (3,780円)、 扇(4,000円)
生け花 (小原流)	二級家元教授 菊井 優子	花に触れ、花を活け、花を飾る、その行為の中で素直に感動する柔らかな心を育ててゆく。	10人	5月～7月、10月～2月 第2・4火曜日 13:30～15:30	20,000円 (1カ月/2,500円)	花代・1回 (900円)
茶道 (武者小路千家)	武者小路千家正教授 笹井 浩子	薄茶・濃茶と茶花を学び、和のマナーや常識を身につける。茶会への参加も年に数回ある。	10人	5月～3月 毎週水曜日 10:30～16:00	22,000円 (1カ月/2,000円)	水屋料・月額 (500円)

※ 5月開講ですが、申し込みは随時受け付けます。

申し込み、問い合わせ ノートルダム清心女子大学同窓会
〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 TEL(086)253-8496

平成25年度 奨学生支援バザー

- 日時・場所 10月20日(日) 12:30～(ホームカミングデー) ヨゼフホール
11月4日(月) 10:00～14:00 (大学祭協賛) ジュリーホール ラウンジ(予定)
- 内容 手作り品の販売他
・喫茶コーナー(大学祭当日)
- お願い 手作り品、タオル、シーツ、日用品、食品品など新しいものをご提供ください。
受付期間：7月1日～10月末日(同窓会事務局まで)
・奨学生支援の寄付金も随時受け付けています。同封の振込用紙をご利用ください。

喫茶コーナーへようこそ

ボランティア募集中です

エンジェル会の活動(旭川荘でのボランティア)

- 療育園 第3・第4土曜日(10:00～12:00)
お菓子作り、散歩、遊び、学習、子どもたちの話し相手
- 睦学園 第1・第3金曜日(9:30～10:30)
第1火曜日(10:00～11:00)
レクリエーション、散歩、室内活動の補助
- 児童院 第3・第4火曜日(11:00～13:00)
歌、絵本の読み聞かせ、朗読、紙芝居、おしめたたみ

ゆめ文庫の活動

- 日時 第2・第4木曜日 10:00～16:00
- 場所 ルルド館 第二会議室(2F)
- 内容 ①点訳絵本の作製と貸し出し(一般の方・岡山盲学校小学部の方)
②点訳絵本蔵書目録の作成
③「会報」の点訳(パソコン)

フリージアの会の活動

- 日時 第2火曜日・第4土曜日
10:00～14:30(ご都合のいい時間にどうぞ)
- 場所 ルルド館 第一会議室

奨学生支援バザー

平成二十四年度「奨学生支援バザー」は、昨年同様にホームカミングデーと大学祭の一日に開催いたしました。十月十四日のホームカミングデーでは、フリージアの会の皆様が一昨年をかねて心をこめて作られた手作り作品を販売し、多くの同窓生の皆様にご購入いただきました。十一月四日の大学祭協賛バザーでは、更に全国の同窓生から贈られたたくさんのお品物に加え、毎回好評なタックキー販売、喫茶コーナーと大勢の方々楽しんでいただき、盛況のうちに無事終了いたしました。

一つひとつの小さな善意が奨学生支援という大きな花になることを誇りに次回をめざしてまいります。

多くの皆様の温かいご支援ご協力に深く感謝いたします。ありがとうございました。ございました。



すてきな作品がいっぱい

平成24年度バザー協力者一覧 (年度別・敬称略)

マナー講座

学生支援として、毎年開催しているマナー講座は、社会人として、自分らしく生き、輝やかせていくための実践講座です。二〇一二年十月二十四日、全日本作法会家督・吉井睦美先生(十四期・国文)に「就職活動に向かってー凛としてー」と題してご講演いただきました。

社会人として、企業の求める人材とは何か、職場では報連相(報告・連絡・相談)が大切、話し上手は聞き上手である等。わかりやすく実例と実践を交えながら、楽しくご講演下さいました。参加した学生たちは、熱心に聴き入り、書き留めている学生も見られました。日本の美しいマナーが日常生活の中でも、活かされ引き継がれていくためにも、在校生への支援の一環である「マナー講座」をリニューアルして、これからも充実させていきたいと考えております。



熱心に聴き入る学生達

奨学金事業

◆平成二十四年度奨学生指導・報告会◆

奨学金委員会では、平成二十四年六月九日と十一月二十四日の二回、平成二十四年度奨学生に対し、指導・報告会を行いました。一回目には、奨学生は緊張した面持ちの中、自分の夢や目標について、決意を発表。二回目は、奨学生として半年が経ち、就職内定の喜びの声、実習や経験を通して感じたことを、目を輝かせながら語っていました。なごやかな雰囲気の中、成長を感じられる指導・報告会となりました。

◆新たに七名の奨学生を決定◆

平成二十四年十二月一日に選考会を開き、厳正な審査の結果、七名の奨学生を選出しました。



平成25年度奨学生証書授与式にて

公務員・教員採用試験対策学内講座

本年度の受講者数は次の通りです。

- 公務員試験対策学内講座 60名
- 教員採用試験対策学内講座 62名

パソコン資格取得講座

平成二十四年度は、次の講座を開講いたしました。

Microsoft Office Specialist (MOS) 資格対策講座

Excel スペシャリスト	139名
Excel エキスパート	13名
Word スペシャリスト	130名
Word エキスパート	5名
PowerPoint	23名
合計	310名 受講!

平成25年度 ノートルダム清心女子大学同窓会 奨学生一覧

2013年4月現在

平成24年度 同窓会奨励賞

次の方々に、同窓会から奨励賞を贈りました。

団体

- I S A (国内外の学生との交流活動)
- 写真部 (「出石しろまち」写真コンテスト入賞)
- 東日本大震災支援ボランティアグループ (支援の継続)
- E. L. A. S (ESSスピーチコンテスト中国大会出場)

個人



●九州支部 (712人)

平成24年7月29日、リーガロイヤルホテル小倉にて、第16回九州支部総会・懇親会を開催いたしました。

渡辺理事長様、学長補佐 菊永先生、名誉教授 濱野恵一先生のご臨席をいただき、なごやかで笑顔の絶えない会となりました。7月の九州地方は、豪雨に見舞われ、皆様の安否が気遣われましたが、このように集うことができ、感謝いたしました。また、被害に遭われた方々には、心よりお見舞申し上げます。

この日出席されていた26期英文科の古川光子さんが11月に逝去されました。にこやかにお話しされていたお姿が印象的でした。どうぞ安らかに眠りください。

今回は鹿児島でお会いできますことを楽しみにしております。



第16回総会・懇親会 なごやかな時間を満喫

九州支部長 大藪祥子

●広島支部 (1,572人)

2012年7月1日、総会を滞りなく終えました。総会に続き、渡辺和子理事長様、学長補佐 菊永茂司先生、藤勝福子先生の御来駕を賜り、懇親会を開催し、至福の時を過ごすことができました。理事長様からは、心洗われるご講話をいただき、日常のちょっとした心配りの大切さを改めて心に刻みました。菊永先生からは、最新の大学の様子を伺い、藤勝先生からはたくさんのパワーを戴きました。アトラクションでは、今回初の試みとして、大学34期国語国文学科の卒業生・棚田典子さん(旧姓・白神)ご夫妻によるアルゼンチンタンゴを披露していただき、大好評でした。お二人は、日本を代表するプロのタンゴダンサーとしてご活躍されており、指導者としても高い評価を得ておられます。

会の最後は、藤勝先生の指揮で大学歌を歌い、心が一つになって笑顔、笑顔でした。現在、広島支部は役員交替の準備中です。次回また皆様の笑顔に会えますように。

広島支部長 寺田道子



総会・懇親会 笑顔の至福の時間

●四国支部 (848人)

昨年9月23日(日)高松にて第14回四国支部総会・懇親会を開催いたしました。高木学長様、山下光昭名誉教授をお迎えしました。参加者が33名という少人数ではありましたが、お一人おひとりのお顔を拝見できる、より身近な会として本学卒業生同士のつながりを深める意義のある集いでもありました。

4月から事務局を愛媛県に移し、装いも新たに運営を始めたばかりです。ひとりでも多くの皆様に関心をもっていただけるよう努力してまいりますので温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

四国支部長 土岐久美子



第14回総会・懇親会 絆を深めあえた集い

●岡山県支部 (14,368人)

去る、6月2日「第9回総会・親睦会ならびに発会15周年記念講演会」を開催しました。ご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。親睦会では15周年の歩みを支えて下さいました高木孝子学長様のご臨席をいただき、なごやかに懇親会をいたしました。また午後は、渡辺和子理事長様をお招きし「幸せのありか」と題してご講演いただきました。昨年、ご著書「置かれた場所で咲きなさい」がベストセラーとなった理事長様のご講話に、支部会員や、一般公開で来場された方々は、改めて各々の幸せについて深く考えるひと時となりました。

岡山支部長 片山幸子



ユーモアをまじえて心にしみるご講演

支部だより

全国9支部から、活動の様子が届きました。



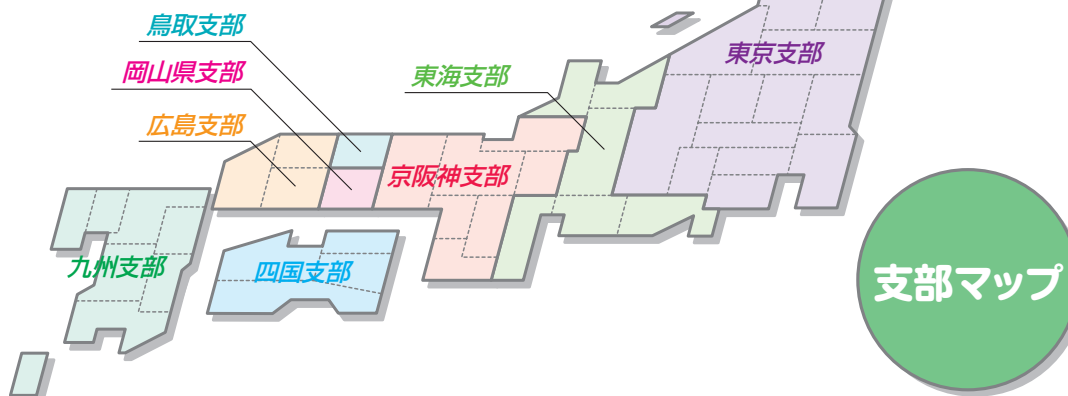
学長様と全国の支部長を囲んで

平成二十五年二月十六日(土)ノートルダムホール中央棟八階会議室において、平成二十四年度の支部長会を開催しました。今年も、全国九支部からお集まりいただきました。各支部の活動を伺うことができ、活発で建設的な御意見もいただき、今後に反映できればと思います。同窓生としての絆が一層深められた充実した会となりました。

平成二十四年度 支部長会報告

■平成25年度 支部総会開催予定表

支部名	日時	場所	招待者(敬称略)
東京支部	9月7日(土) 11:00~	ロイヤルパークホテル	渡辺理事長・高木学長 赤松佳子
東海支部	10月6日(日) 11:00~14:00	ザ・サイプレスメルキユールホテル名古屋	渡辺理事長・高木学長 藤木和子
北海道ユリア会	9月3日(火) 11:30~14:00	ホテルKKR札幌	渡辺理事長



支部マップ

★ 支部会費納入のお願い ★

同窓生は、同窓会会則第2章第7条「会員は、すべていずれかの支部に所属するものとする。」により、必ずいずれかの支部に所属することになっております(※どの支部に所属しているかは、同窓会支部規程をご覧ください)。支部会費の納入をよろしくお願いいたします。

※各支部の会員数は平成25年4月30日現在のものです

●鳥取支部 (87人)

昨年9月、渡辺和子理事長様の講演会が鳥取市文化ホールで、国際ソロプチミスト鳥取主催で開催されました。それに併せて、今年度の鳥取支部同窓会総会を開催いたしました。理事長様もご講演の後、お疲れのところをこの会に御出席下さいました。『心豊かに生きる』という演題のお話の内容もさることながら、思わぬたくさんの方々の語り合いが嬉しくも楽しくもあり、その日一日を本当に心豊かに過ごさせていただきました。

鳥取支部長 三輪洋子 連絡先 (0859)27-4484



同窓生の方々との楽しい語り

●北海道ユリア会 (49人)

昨年5月に理事長様が講演で札幌にいらっしやいました。

お忙しい中、お時間を割いていただきまして、懇親の場を設けていただくことができました。とても和やかに楽しく心温まるひと時でした。本年9月3日に総会・懇親会を開催致します。皆様にお会いできることを楽しみにしております。



理事長様との心温まるひととき

北海道ユリア会 代表 小池裕子

●東京支部 (2,088人)

昨年6月、新緑の吉祥寺修道院において幹事会を開き、活動案、予算案の承認をしていただきました。大学2期の大先輩から、赤ちゃん連れの方まで、学生時代の思い出や、卒業後の貴重なご経験、近況をお聞かせいただきながら、和やかな時間を過ごすことができました。10月には支部ニュースを発行し、現在は今年9月7日の支部総会・懇親会の準備を進めております。役員一同、多くの皆様にお会いできるのを楽しみにしています。



新緑の吉祥寺修道院において

東京支部長 小林直子

●東海支部 (621人)

第15回東海支部総会・懇親会を、本年10月6日(日)ザサイプレスメルキユールホテル名古屋にて開催いたします。場所は、名古屋駅から徒歩5分程の所にあります。今期は32期、33期の同窓生が総会に向けて準備を行っています。「楽しく」をモットーに総会準備メンバー役員会では、皆でアイデアを出し合って和気あいあいと楽しく過ごしています。せっかくだいたお役目なので、「楽しく」をモットーに総会までの時間を大切にしていきたいと思っています。是非総会にお越しいただき、秋の一日、穏やかに楽しいひとときを過ごしていただければ幸いです。



「楽しく」をモットーに総会準備メンバー

東海支部長 安田典子

●京阪神支部 (2,209人)

昨年8月26日、ホテルグランヴィア京都におきまして、第24回総会・懇親会を開催いたしました。理事長様、学長様、学長補佐 菊永先生、藤勝先生のご臨席のもと、会場内は女専1期から大学51期までの200名近い元女子大生の笑顔であふれていました。1958年に発足し、今年で55年目の京阪神支部は、4月より35・36期の役員がバトンを引き継ぎ、第25回総会に向けての準備を始めました。同窓生の皆様、来夏はぜひ京都にお越しくださいませ。



第24回総会・懇親会 藤勝先生指揮のもと大学歌斉唱

京阪神支部長 小幡祐可子

平成二十五年同窓会代議員総会

平成二十五年同窓会代議員総会は、平成二十五年五月二十五日(土)、東京支部、京阪神支部、九州支部、広島支部、東海支部、四国支部、岡山支部、鳥取支部の支部長の参加で開催されました。出席者二十七名、委任状出席六十七名により、提議案はすべて承認されました。

- 第一号議案 平成二十四年度事業報告及び収支決算承認の件
- 第二号議案 積立金取り崩し承認の件
- 第三号議案 平成二十五年事業計画及び収支予算承認の件
- 第四号議案 同窓会会則の変更承認の件



熱心に審議

監査報告

平成24年4月1日から平成25年3月31日までの平成24年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

- 1 監査の方法の概要
 - (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
 - (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。
- 2 監査意見
 - (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、会の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
 - (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
 - (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実はないと認める。

以上

平成25年4月24日

ノートルダム清心女子大学同窓会

監査委員 高橋みどり
 監査委員 種溝宏美
 監査委員 田中恵子

代議員のしごと

近年、仕事が多忙、介護・高齢病気などの理由で出席できない方が増えてきました。理事会で協議し、昨年の代議員総会開催のご案内の中で、ご意向(続けたい・辞退したい)をお伺いしました。その結果を大切にしながらも、更にお願いをして次の方々に引き受けて頂きました。おかげさまで各期一名以上を選出し、同窓生の輪をほぼ繋げることが出来ました。

年一回開催される代議員総会は、本会の最高議決機関です。それにご出席(委任状含む)頂き、同窓会の活動や、会の在り方などご審議ください。

また、各都会(会報・ホームカミング・ボランティア)にご参加頂き、各都がより一層充実できるようにと考えております。

ここで引かれた皆様には、長い間代議員として同窓会のためにお力添えを頂きありがとうございます。

今後ともご協力下さいますようお願いいたします。



平成二十五年代議員名簿

期・科	氏名
専4期・英	宮谷照子
専5期・保	中張悦子
大3期・家	岡部泉
大6期・英	鈴木菊子
大6期・家	藤井倫子
大7期・家	大熊庸代
大8期・英	信岡敦子
大8期・国	石井良枝
大10期・英	大熊昌子
大10期・国	古田啓子
大10期・家	元井和子
大11期・英	佐々木道子
大11期・家	東慧子
大12期・国	杉本香奈恵
大12期・家	斉藤緑
大13期・家	光藤明子
大14期・国	入江浩子
大14期・家	嘉数歳子
大15期・国	高橋睦子
大15期・家	石津ミチ子
大16期・英	大橋嘉代
大16期・家	小橋淑江
大16期・家	百合草孝子
大16期・児	岸本清子
大17期・英	保津夕力子
大17期・国	天野ひろみ
大17期・家	岡本瑠美
大17期・食	森谷郁子
大18期・英	神本富子
大18期・国	上川和子
大18期・家	大森久美子
大18期・家	米本弘子
大18期・児	小郷原恵美子
大18期・児	平野順子
大19期・国	牧野徳子
大19期・食	坂本鈴子
大20期・国	須江秀子

期・科	氏名
大20期・児	稲田敏子
大20期・食	片岡富子
大21期・国	鳥取温子
大21期・食	小山育子
大22期・英	森田恵子
大22期・家	福田典子
大23期・国	長野育子
大23期・児	棕代公子
大24期・英	神浦由里
大24期・食	河合博美
大25期・英	近藤禎子
大25期・国	大河原桂子
大26期・英	豆谷裕子
大26期・児	福田澄恵
大26期・児	牧豊子
大27期・英	橋爪泰子
大27期・家	服部裕子
大28期・家	片岡一恵
大28期・家	河原秀子
大28期・食	長尾祥誉
大29期・児	金光真里
大30期・英	畑野比呂美
大30期・食	藤田雅子
大31期・英	佐藤由美子
大32期・家	佐久間敦子
大33期・英	高木祥子
大33期・国	那須英糸
大34期・国	前田敦子
大34期・家	岸本晴美
大35期・国	時久祐子
大35期・家	中野明子
大36期・食	青木泉
大37期・食	渡部睦美
大37期・食	石井知恵子
大38期・国	近藤美智子
大39期・児	木村久恵
大39期・食	山本小百合

期・科	氏名
大40期・英	小柴英子
大41期・英	高野友紀
大41期・家	吉村香里
大42期・家	井上圭子
大43期・家	内藤知美
大44期・英	仁科麻紀
大44期・国	東山有末
大45期・国	松岡一美
大45期・家	岡村亜希
大46期・家	清水薫
大47期・食	北原香奈
大48期・児	掘米直子
大49期・英	筒井智美
大50期・英	西川照美
大51期・英	高橋三紗子
大52期・日	内藤景子
大52期・食	菱川明子
大53期・生	苗松亜耶子
大54期・食	金谷祐子
大55期・社	秋田芳里
大56期・英	高原佐知子
大56期・生	江國未来
大56期・生	野瀬裕子
大57期・英	坪本由佳
大57期・生	奥田麻美子
大57期・児	秀梓
大57期・食	岡本雅子
大58期・食	井上結貴
大58期・食	柏瀬晴子
大59期・生	小林由佳
大60期・日	石原三希江
大60期・日	久木野優子
大60期・社	槇尾早奈恵
大61期・日	信江有紀
大61期・日	笠原彩奈

(2013.4.8現在 109名)

同窓会館利用のしおり

組織図

● 使用できる人

- ① 学生・同窓生・岡山清心女子専門学校・ノートルダム清心女子大学現旧教職員(客員)及びその家族
- ② 付属校、姉妹校関係者及びその家族・同窓会理事会が承認した者

● 使用目的

会合・研修・宿泊

● 休館日

日曜日・国民の祝日・創立記念日・ブレジアンデー・クリスマス・夏季休業・冬季休業等

部屋の名称	収容人数	使用料			
		(会議・会合等) 4時間以内		宿泊(1泊・1名) 16時～翌日9時	
		平日: 9時～16時	土曜日: 9時～14時30分	①	②
1F 第1会議室	25人	3,000円	4,000円		
第2会議室	14人	1,500円	2,000円		
2F うめ(和室)	7～8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円
かえで(和室)	7～8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円
備考		超過料金 (1時間につき各料金の2割増し)		寝具はリース(実費負担)	

- 特別委員会
- 奨学生選考委員会
 - 役員選考委員会(該当期の代議員による)
 - 情報管理委員会

- 監査委員
- 事務局

- 支 部
- (東京・京阪神・九州・広島・東海・四国・北海道ユリア会・岡山県・鳥取)

分 掌		総 務	
講 座	奨学金事業	ボランティア	ホームカミング
文化講座 着付け・謡曲 生け花・茶道	学生支援講座 公務員・教員採用 試験対策学内講座	ゆめ文庫 エンジェル会 フリージアの会	ホームカミングデー 生涯教育
	奨学生選考・指導 奨学生支援事業		広報 刊行物 ホームページ
			総務 会計 財産管理 会議書記 支部総括 特別委員会

住所変更届けのお願い

住所等に変更があった場合は、すみやかにハガキ・FAX・Eメールで同窓会事務局までご連絡ください。

100万部突破! おめでとうございます。



理事長様のご著書が多くの方の心に届き、感銘を受けた、励まされたと新聞やテレビで話題になっています。

“Bloom where God has planted you”(神が植えたところで咲きなさい) — 私達も卒業生としてこの言葉を真摯に受け止め、それぞれの場所で誠実に生きていきたいと思ひます。

1963年(昭和38年)、シスターが学長に就任されました。その2年後、国文学科に着任し共に大学の発展に力を尽くされた名誉教授 赤羽淑先生が、お祝いと感謝の気持ちをこめて、理事長様に詩を贈られました。

● 同窓会よりお祝いの品を贈らせていただきました。

ことばの花束

花の蕾がほころぶように あなたはほほえむ
大学の校内だけでなく 遠い町の人々に語りかける
やさしい口調で しかも凛として あなたは説く
神の愛と人間の尊厳を そしてうつくしく生きようと
かぐわしい香りをただよわせ あなたは通りすぎる
あとに

地上のどの花束にもない ことばの花束を残して
祈りのことば ほほえみの贈りもの

赤羽淑

大学からのお知らせ

本学の公式ホームページが新しくなりました

同窓生の皆様には平素から資料情報のご提供をいただきありがとうございます。

さて、昨年度末、本学のホームページをリニューアルしました。大学の基本的な情報の他に、日々のニュースや授業の様子、学生生活を綴るブログを開設しています。今後は、卒業生の方への情報提供を徐々に増やしてまいりますので、ぜひご覧ください。

今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



ご意見・ご感想は
下記、資料編集室まで
お願いいたします。

資料編集室

TEL 086-252-3107 FAX 086-252-7035 E-mail: archives@pluto.ndsu.ac.jp
※お電話でのご連絡は月～金 9時～16時半(祝・本学休業日を除く)をお願いいたします。

入試広報部より

● 2013年度 オープンキャンパス日程

- 高松オープンキャンパス
2013年7月13日(土) 12:30～15:30
- 夏のオープンキャンパス
2013年8月3日(土)・8月4日(日) 12:30～16:30
- 秋のオープンキャンパス
2013年10月6日(日) 12:30～16:00
- 春のオープンキャンパス
2014年3月23日(日) 13:00～16:00

詳しくは、ホームページをご覧ください。
入試広報部 TEL: 086-255-5585(直通)
URL: http://www.ndsu.ac.jp/

ありがとうございました
— この春ご退職の先生方 —

人間生活学部教授 脇 明子先生
人間生活学部教授 服部 幸雄先生

31期 家政科の皆様へ

皆さん、いかがお過ごしでしょうか? 「仕事が重責を担うポストになってきたわ」「子育てはそろそろ一段落よ」「両親の介護を頑張っているのよ」等々、近況は様々ですね。

同窓会創立60周年を迎える今年のホームカミングデーは、ヨゼフホール(旧学寮跡地)を利用して、様々な企画が予定されています。この機会に同期会を持つことを計画しました。懐かしい学び舎で30年ぶりに友達と顔を合わせ、旧交を温めましょう。皆さんの参加をお待ちしています。

甲斐(下窪)美恵 福田(小野)好子

15期 国文学科の皆様へ

お元気で活躍のことと推察いたします。さて、私たちは大学入学以来はや半世紀におよぶ年月が経ちました。

今年は同窓会も60周年という節目を迎えることとなりました。そこで10月20日のホームカミングデーで同期会を催したいと思ひます。ご多忙ですが、ご都合をつけて大学にお帰りくださいませか。

旧学寮は、今新しく講義棟として生まれ変わろうとしております。一度お帰りいただき、青春時代のなつかしいこまを思い起こしてみましよう。

お会いできることを楽しみにお待ちしております。

実光 詔子



同窓会では、新棟ヨゼフホールの備品設置資金の一部として、寄付をさせていただきます。

次回より、ホームカミングデーに限り、同期会のご案内を会報に掲載することも可能です。

フェリーチエ聖書講座 ～聖書と現代社会～

回数	日	講師	題目
第1回	10月12日(土)	東京大学名誉教授 荒井 献	苦しみから解かれて — イエスの「癒しの奇蹟物語」の現代的意味 —
第2回	10月26日(土)	本学学長 高木 孝子	イエスによるゆるしと愛
第3回	11月 9日(土)	上智大学神学部教授 雨宮 慧	聖書の知恵の現代的意味
第4回	11月16日(土)	上智大学神学部元教授 百瀬 文晃	聖書にみるいのちの恵みとその共有
第5回	12月 7日(土)	東京大学名誉教授 自由学園最高学部長 大貫 隆	イエスの隣人愛について

ホームカミングデーのご案内

平成25年度 ホームカミングデーを下記の日程で開催いたします。

お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

今年で同窓会は、創立60周年の節目を迎えます。記念行事として、ホームカミングデーと合わせて、「60周年記念作品展」を催したいと思っております。

ぜひご出展くださいますようお願い申し上げます。

記

- 日 時：平成25年10月20日(日) 10:30～15:00〔受付9:30から〕
 - 場 所：ノートルダム清心女子大学 ヨゼフホール
 - 内 容：生涯教育講座 10:30～11:45 講師：高木 孝子 学長
演 題：「老いー役割意識の危機と新しい生きがいの探究」
- 同窓生の集い 12:15～ ・会 食
・ヨゼフホール見学と作品展(9:30から)



学寮跡地に新築されたヨゼフホールのイメージパース

「60周年記念作品展」出展のお願い

- 開催場所：ノートルダム清心女子大学 ヨゼフホール
- 出品作品：絵画、彫刻、書、染色陶芸、写真、生け花、点訳絵本、書籍 他
- お申込方法：7月末日までに同窓会事務局へご連絡ください。
- 搬入日：10月19日(土) 13:30～
- 搬出日：10月20日(日) 16:00～17:00
- 出品者説明会：10月19日(土) 13:30より展示会場でを行います。
※搬入、搬出は各自の責任でお願いします。

- 参加費：3,000円(昼食代含む)
- 締 切：9月7日(金)振り込み分まで
- 申し込み方法：同封の振り込み用紙をご利用ください。(振り込み確認で受付完了となります。チケットの発行はいたしません。)
 - ※ 午前中の生涯教育講座は、一般の方のご参加も歓迎いたします。(無料)
お友だちをお誘いの上、ご参加下さい。(お申込みは、同窓会事務局まで)
 - ※ フリージアの会による手作り品の販売もいたします。
 - ※ ご出席の方につきましては、当日配布資料の出席者名簿にお名前を掲載いたしますことをご了承ください。
- 注 意 事 項：駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- お問い合わせ：ノートルダム清心女子大学同窓会
〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 TEL&FAX (086)253-8496 E-mail: rurudo@theia.ocn.ne.jp

●題字 高木聖鶴

●表紙 聖ジュリー・ピリアート像

「ナミュール・ノートルダム修道女会」の創立者 聖ジュリー・ピリアートの像は、100NDの角に静かに立っています。1751年北フランスの農家に生まれ、信仰と女子教育にその生涯を捧げた聖ジュリー・ピリアート。長い年月、発展する大学の姿や学生・卒業生を優しく見守り続けています。

個人情報の取り扱いについて

個人情報保護法施行に伴い、本会では情報管理委員会を設け、会員の皆様の個人情報の適切な取り扱いに努めています。

(情報収集と使用目的)

個人情報の収集は、本会の必要な範囲に限定し、使用目的を明確にする。

同窓会に登録されているデータは、ノートルダム清心女子大学同窓会からの連絡送付

●同窓会・各支部・各部会の活動支援

●会員確認調査

●会員名簿の作成

の目的範囲を超えて使用及び提供はしない。

(会員からの申請)

会員は、本人の個人情報の開示・訂正・提供範囲の変更や削除の申請ができる。

編集後記

会報49号をお届けします。同窓生の皆様が所属されている九つの支部をマップにしました。そして、懸案でありました代議員について見直しさせて頂きました。会報を通して学生時代に思いをはせ、同窓会・母校に関心を持つて下さることを願っています。ノートルダム清心女子大学の門をくぐり学んだ方々とは、瞬時にうちとけていく魔法のような力があります。皆様も是非ホームカミングデーや大学祭などにお気軽にお出掛け下さり、懐かしさに浸って下さい。どうぞお読み下さって、ご意見ご感想などお寄せ下さい。

会報編集委員

- | | | |
|--------|-------|----|
| 十四期・家 | 世良 | 佳子 |
| 二十一期・国 | 伊丹三保子 | |
| 二十四期・英 | 佐藤 泰子 | |
| 二十四期・家 | 菊井 優子 | |
| 二十四期・児 | 久一 純子 | |